

要請番号 (JL12416B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パプアニューギニア	G102 環境教育		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

ミルンバイ州政府

2) 配属機関名 (日本語)

アロタウ市役所

3) 任地 (ミルンバイ州アロタウ) JICA事務所の所在地 (ポートモレスビー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はパプアニューギニア本島の東端に位置するミルンバイ州の州都アロタウ市の市役所。同市は人口1万6千人程度の小さな市であるが、教育レベルが高いことで知られている。職員数30名程度。年間予算約4千万円。市役所ではあるが、実質的に取組んでいる事業は保健衛生と環境に係る事業に限られており、JV配属先となる計画課が、固形廃棄物処理を中心とした環境分野の事業を管轄している。市のごみ処理の現状は、分別等も無く、収集しダンピングサイトへ廃棄する形態。環境教育の具体的取り組み実績も無いが、ごみを路上に捨てた場合に罰則を科す法令を持っている。外国人ボランティアの受入経験無し。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

大洋州の国々では地理的条件や社会的背景から適切な廃棄物処理が困難な場合が多く、生活様式の近代化に伴う量の増加も相まって、海洋や陸域などの観光・産業資源、および人々の公衆衛生に深刻な影響が出ている。JICAは、この問題解決をめざし、2011～2016年の期間、当国を含む大洋州11か国において、大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト(JPRISM)を実施した。当国では、首都市役所をプロジェクト対象とし、ごみ処理施設・運営の改善、ごみ収集の改善、市役所職員の能力向上に取組み、成果につながったことから、2017年から、プロジェクト対象を全国を管轄する環境省とし、JPIRSMフェーズ2を開始予定。この背景の中、環境問題に取組む意識が高い当配属先では、住民の環境に対する意識啓発を重視しているものの、具体的取組はされていないため、JVの支援を受け、地域住民に対する環境教育を開始したい意向がある。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.環境教育教材や啓発/広報ツールの制作を行う。
- 2.学校等教育機関の児童・生徒や地域住民に対し、ゴミ減量や3Rを含めた環境意識の啓発活動を行う。
- 3.配属先同僚の環境教育に係る能力向上を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

主たる同僚:40代男性、保健環境事業担当者

その他同僚:男性3名、女性1名、30～50代

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	

【資格条件等】

[免許]：（ ）	[学歴]：（短大卒）	備考：同僚の教育水準と合わせる
[性別]：（男性）	備考：治安上の理由	[経験]：（ ）
		備考：

任地での乗物利用の必要性

単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）	気温：（25～35℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可	電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は他のJVと同居となる可能性がある。